

軍事企業売り上げ上位10社(億ドル)

| | | |
|----|-------------------|-----|
| 1 | ロッキード・マーチン(米国) | 593 |
| 2 | レイセオン・テクノロジーズ(米国) | 395 |
| 3 | ノースロップ・グラマン(米国) | 323 |
| 4 | ボーイング(米国) | 293 |
| 5 | ゼネラル・ダイナミクス(米国) | 283 |
| 6 | BAEシステムズ(英国) | 269 |
| 7 | 中国兵器工業集団 | 220 |
| 8 | 中国航空工業集団 | 206 |
| 9 | 中国航天科技集団 | 195 |
| 10 | ロステック(ロシア) | 168 |

日本企業

| | | |
|-----|------|----|
| 43位 | 三菱重工 | 32 |
| 65位 | 川崎重工 | 18 |
| 80位 | 富士通 | 12 |
| 99位 | IHI | 7 |

出典: S I P R I 2022年武器・軍事サービス売上
高上位100社

軍事企業100社 売り上げ90兆円

中東・アジア・オセアニアで伸び

【ベルリンリ吉本博美】世界の軍事企業を調査するスウェーデンのストックホルム国際平和研究所(SI PRI)は4日、2022年ににおける軍事企業上位100社の武器・軍事サービスの売上総額が、59270億ドル(約90兆円)にのぼったと発表しました。最も売り上げを伸ばしたのはトルコをはじめ中東の

企業。7社で前年比11%増の179億ドルとなりました。

PR Iは4日、2022年連続で欧州企業の総額を上回りました。S I P R I軍事支出・武器生産プログラムのシャオリヤン研究員は「中国、印度、日本、台湾の企業は、政府が継続的に軍隊の近代化のために投じる予算から利益を得ている」と指摘しました。

上位100社には米国の42社が入り、計3020億ドルと世界の総額の約半数を占めました。欧米の軍事企業は人員不足や物価高騰、ウクライナ侵略戦争などのサプライチェーン(供給網)の乱れで生産が追いついていないと指摘。売り上げは前年比で米国42社は7・9%減、欧洲26社は0・9%増の計110億ドルとなりました。

米42社 総額の約半数占める